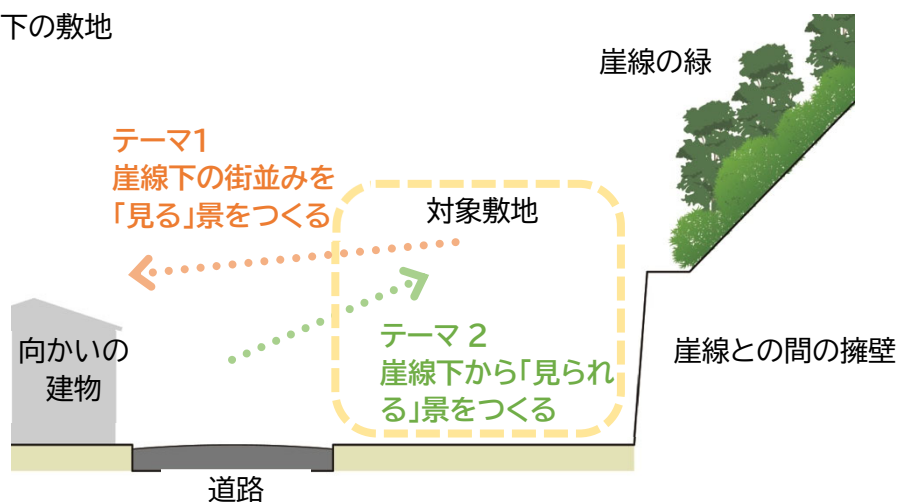


テーブルワークの進め方

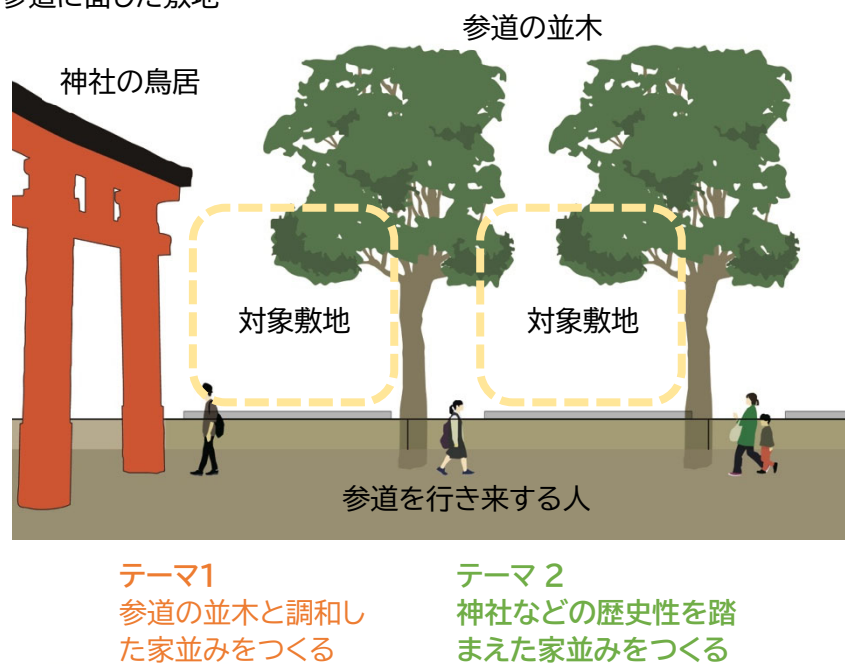
○赤塚四・五丁目地区の景観の特徴である「地形」「歴史」「緑」に着目して、地区内の典型的な敷地のモデル図を使って、周辺の景観と調和する建物や外構のデザインを考えます。

〔対象とする敷地と検討のテーマ〕

A 崖線下の敷地



B 神社参道に面した敷地



[ワークの進め方]

A 崖線下の敷地

テーマ1:崖線下の街並みを「見る」景をつくる

・崖線下の街並みを眺めるのにふさわしい建物を考えてみる。

①崖線下の敷地にふさわしい建物の形状、色彩を決めて配置する

話し合いのポイント(例)

- ◇建物の形状・高さ : 崖線との調和を意識しながら、建物の屋上などから街並みを見下ろすためにはどのような建物の形状などがふさわしいか
- ◇建物の色彩 : 崖線の緑と調和した建物の色彩としてどのようなものがふさわしいか

②崖線下の景色を「見る」ことを意識して建物の詳細を決める

話し合いのポイント(例)

- ◇屋根の形状 : 勾配屋根がよいか、陸屋根がよいか
- ◇屋上などの設え : 屋上などをどのように使うか。そのためにあった方がよいものは何か

テーマ2:崖線下から「見られる」景をつくる

・崖線下から見上げたときに、良好な景観となる建物を考えてみる。

①崖線下の敷地にふさわしい建物の形状、色彩を決めて配置する

話し合いのポイント(例)

- ◇建物の形状・高さ : 下から見上げた時、どのような建物の形状などがふさわしいか
崖線も見えた方がよいのか、見えなくてもよいのか
- ◇建物の色彩 : 崖線の緑と調和した建物の色彩としてどのようなものがふさわしいか

②崖線下の景色を「見る」、崖線下などから「見られる」ことを意識して建物の詳細を決める

話し合いのポイント(例)

- ◇屋根の形状 : 勾配屋根がよいか、陸屋根がよいか
- ◇屋上などの設え : 屋上などをどのように使うか。そのためにあった方がよいものは何か

B 神社参道に面した敷地

テーマ1:参道の並木と調和した家並みをつくる

・参道の並木と調和するように沿道の敷地(建物、外構)はどのようにしたらよいか考えてみる。

①参道の沿道としてふさわしい建物の形状、色彩を決める

話し合いのポイント(例)

◇建物の形状・色彩 :神社の建物や歴史、参道の雰囲気や並木の緑と調和した建物の形状、色彩としてどのようなものがふさわしいか

②参道の沿道としてふさわしい建物や外構の詳細を決める

話し合いのポイント(例)

◇屋根の形状 :勾配屋根がよいか、陸屋根がよいか

◇外構の設え :道路との境界部は塀や生垣のいずれがふさわしいか、または塀などを設置しない方がよいか。設置する場合はどのような素材が望ましいか
植栽としてどのような緑がふさわしいか

テーマ2:神社などの歴史性を踏まえた家並みをつくる

・神社(や城跡)といった歴史的な特徴を踏まえた敷地(建物、外構)とするには、はどのようにしたらよいか考えてみる。

①歴史ある地区にふさわしい建物の形状、色彩を決める

話し合いのポイント(例)

◇建物の形状・色彩 :神社の建物や歴史を意識した建物の形状、色彩としてどのようなものがふさわしいか

②歴史ある地区にふさわしい建物や外構の詳細を決める

話し合いのポイント(例)

◇屋根の形状 :勾配屋根がよいか、陸屋根がよいか

◇外構の設え :道路との境界部は塀や生垣のいずれがふさわしいか、または塀などを設置しない方がよいか。設置する場合はどのような素材が望ましいか
植栽としてどのような緑がふさわしいか

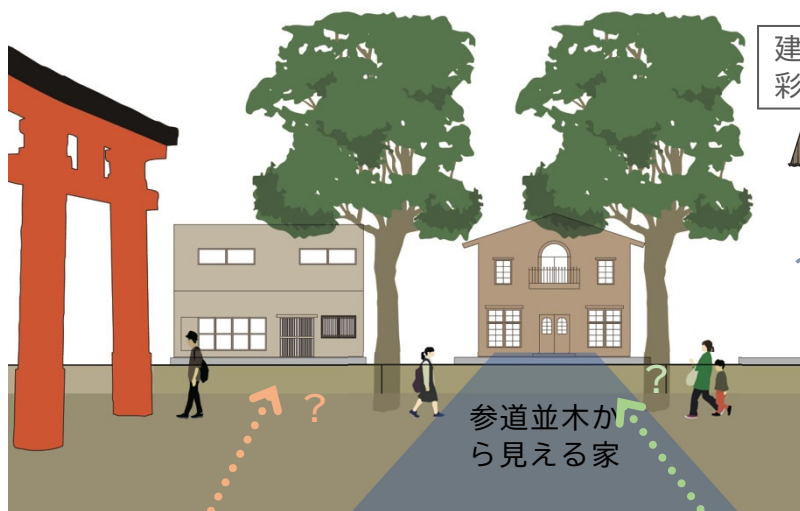
【ワークのイメージ】

バルコニーはどんな
使い方？

バルコニーはどう
したらよい？

植栽はどこにどん
なものにする？

建物の形状、色彩は
どうしたらよい？



建物や屋根の形状、色
彩はどうしたらよい？

植栽はどこに
どんなものにする？

塀や生垣を設置する？
素材などはどうする？

